

実務者のためのNCP研修会 募集要項

【目的】

名古屋学芸大学健康・栄養研究所主催「実務者のための栄養ケア（管理）プロセス研修会」は、管理栄養士のスキルアップと同職種間でのネットワーク構築を目的に、2015年度より開催しています。

管理栄養士として対象者への栄養ケアにどのようなアプローチが必要なのか？短期集中的にグループディスカッション等をする中で、広い視野をもって患者さんの栄養管理計画を作り、どのようなアウトカムを期待してPDCAを回していくのかを深く検討しています。

今回の研修会では、ベーシックトレーニングと分野別ワークショップの2部形式で開催をします。これを機会に自分自身を高めてみませんか。

【実施要領】

対 象： 医療・福祉分野で栄養管理を行っている実務者（管理栄養士）

日 時： 2023年2月19日（日）10：00～15：00

場 所： 名古屋外国語大学名駅キャンパス（サテライト）（JR「名古屋駅」より徒歩約12分、地下鉄東山線 亀島駅より徒歩約6分）、およびオンライン（Zoom）

参加費： 無料

参加者： 50名程度

案 内： <https://www.nuas.ac.jp/IHN/>

申込先： Peatix (<https://2022ncp.peatix.com/>)

〆切り： 1月20日（金）

内 容： 2部制

1部 10：00～12：00 ベーシックトレーニング

「 動画作成のレベルアップに必要なこと 」

講師： 名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科 郷司 麻由 先生

「 管理栄養士のための初めての広報DX 」

講師： 名古屋栄養専門学校 平田 芳浩 先生

2部 13：00～15：00 分野別ワークショップ（下記3分野から1分野を選択）

①急性期（#ICU #術後 #輸液 #がん #NST）

「【症例から学ぶ】栄養開始のタイミングを見極める！－患者の状態を把握して栄養管理に生かすには－」

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 須田 真実 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 畠山 桂吾 先生

②慢性期（#栄養指導(DM・CKD等) #リハビリテーション栄養 #給食管理）

「管理栄養士が算定できる診療報酬について考える～せっかくできた診療報酬、算定していますか？～」

愛知医科大学病院 原 なおり 先生

名駅東クリニック 橋本由香梨 先生

③高齢者（#施設 #フレイル #嚥下障害 #認知症 #サルコペニア #重度要介護）

「高齢者の健康を切れ目のない栄養管理で支える～病院と施設・在宅の栄養管理方法の違いを把握する～」

社会福祉法人英楽会 楓林花の里 小島 三枝 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 村瀬 朱音 先生

ベーシックトレーニング概要

■動画作成のレベルアップに必要なこと

管理栄養士も広報のスキルが求められるようになってきました。市民が調理動画をアップするプラットフォームが人気であるように、医療従事者が予防も含めた啓発、教育活動を展開していくためには必要となるスキルであると考えられます。今回は動画作成のポイントを知ること、「レベルアップ」できるコツを伝授していきます。

■管理栄養士のための初めての広報 DX

講師が、栄養士養成校や愛知県栄養士会の HP 作成や SNS 等を用いた広報業務を行う中で、管理栄養士として活用できる広報の考え方やオンラインのツールについて紹介します。臨床では地域との連携をすすめたり、日頃の業務を院内外へのアピールするためにも広報の重要性は増してきています。今回は初心者の方向けの内容として、簡単なワークも交えて一緒に学ぼうと考えています。

分野別ワークショップ概要

■急性期：【症例から学ぶ】栄養開始のタイミングを見極める！

～患者の状態を把握して栄養管理に生かすには～

急性期病院の管理栄養士の役割の一つとして、入室後 48 時間以内の早期経腸栄養の開始に貢献することが挙げられます。しかし、同じ疾患名でも重症度や治療経過、併存疾患、患者背景が異なれば栄養開始のタイミング、栄養開始時期に考慮すべき事柄が変わってきます。本ワークショップでは患者さんの病態や治療経過を把握し、医師に提案することを想定して、栄養開始のタイミングと栄養プランを一緒に考えてみましょう。

■慢性期：管理栄養士が算定できる診療報酬について考える

～せっかくできた診療報酬、算定していますか？～

令和 4 年度の診療報酬改定では 8 つの栄養関連項目において新設や見直しが行われました。管理栄養士の日々の業務が患者支援に繋がると評価されたと考え、とても嬉しいことです。しかし、診療報酬はただ算定すればよいのではなく、質の高い栄養管理を提供したうえで算定することが求められ、今後より栄養関連項目の診療報酬を充実させていくために質の高い栄養管理は重要です。

現在、胸を張って“質の高い栄養管理が提供できている”と言える管理栄養士はどれくらいいるでしょうか？また、新しい診療報酬を算定できている施設はどれくらいあるのでしょうか？このワークショップでは、クリニックでの情報通信機器等を用いた外来栄養食事指導と特定機能病院の循環器内科病棟での栄養管理体制を例に、“質の高い栄養管理の提供”と“せっかくできた診療報酬の算定”にはどうしたらよいかについて、みなさんと情報を共有しながら考えていきたいと思ひます。

■高齢者：高齢者の健康を切れ目のない栄養管理で支える

～病院と施設・在宅の栄養管理方法の違いを把握する～

同じ疾患でも、病院と施設では栄養管理方法が異なることは珍しくありません。しかし、その違いに気づき、理解するための機会が少ないのが現状です。そこで、互いの栄養管理方法を知ること、高齢者の入退院時にスムーズに引き継げるようになることを目標としています。高齢者によくある多疾患併存をテーマとし、いくつかの症例に対して施設チーム、病院チームで栄養管理方法の視点を話し合い、チーム間で意見交換をしていきます。